

森林林業再生プランに対応した 林業振興計画は



多田 勉 議員
(清風会)



めがね橋イベントのもよう

問

森林・林業再生プランに対応した森林整備計画の見直しをどう考えるか。地場産材を活用した住宅整備の推進と、販路拡大策の構築のため、「生産加工都市」の構造を活かすべきでは。また、広葉樹資源で、椎茸や木炭の生産振興を図る考えは。

答

森林施業の集約化や路網整備な

ど、森林・林業再生プランの実現を推進し、木材自給率50%以上を目指す。住宅等への安定供給や、木質バイオマス資源の活用で環境負荷の少ないまちづくりに貢献していく。現在、森林整備変更計画の縦覧公告中。この計画では、木工団地を中心に、原木や製材品に付加価値を付けた出荷体制強化のため、効率的作

業システムの構築を推進する。また、人材育成が重要であり、林業大学校設置構想を検討し、その方針等を掲げたい。

広葉樹等の利活用は、森林整備計画の貴重な事項。特に、ナラ類については椎茸、木炭等、生産拡大に有効的で、ナラ枯れ被害から守る観点からも、振興を図る。木質バイオマスの利用拡大に、薪ストーブの導入を促すなど、低炭素社会への取り組みを推進する。木炭が住宅の床下環境の改善実証があるので、今後活用方法を検討する。

問

今年、復興道路が開通するが、交通も大きく変化し、地域経済の衰退が懸念される。まちづくりについては、めがね橋周辺環境整備検討会で検討することだったが、この進捗状況は。後に開通する遠野インターも含め、地域課題への対応が重要。市全体のPA的機能についても見解を伺いたい。

答

東和宮守間は24年度供用開始が見込まれ、宮守遠野間も早まるを期待する。復興道路にアクセスする関連道路の早期改良も要望する。開通により、交通量減少・ストロー現象も懸念されるが、市内観光地への誘客や交流人口拡大の好機でもある。また、4号線アクセス改善により、就業拡大が見込まれる。宮守町では、めがね橋周辺環境整備検討会で検討し、環境整備やイベント等で集客とPRを図っている。宮守総合支所を中心に検討を重ねている情報ビジネス校活用の提案にも弾みがつくと考える。復興道路釜石東和間にSA、PA等の計画はなく、市全体をPAとした市内施設や観光PR看板の設置を国に要望した。4月から6月に開催の国内最大規模「いわてデスティネーションキャンペーン」に合わせ、平泉や周辺自治体と連携を図りながら活動を実施したい。

※1… SAとは、サービスエリアの略称
※2… PAとは、パーキングエリアの略称